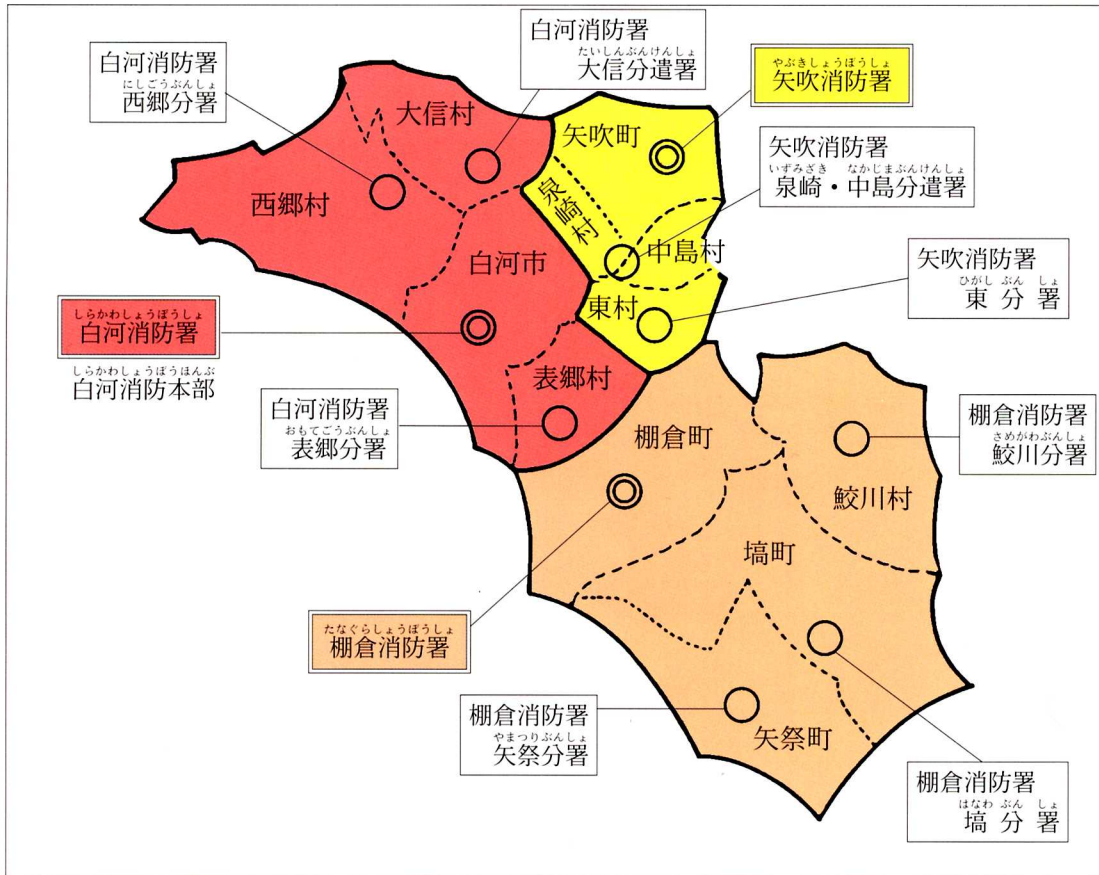


## こういき消防<sup>りょく</sup>力ぶんぶ図



きゅうきゅうきゅうめいし

### 救急救命士さんのお話



平成3年4月にほうりつできめられたことで救急救命士の活動がスタートしました。これまでは、病院に運ばれるまでに亡くなってしまいう人が多かったので、お医者さんの指示を受けて大きく3つの活動ができるようになりました。①器具を使って<sup>きどうかくほ</sup>気道確保すること。②<sup>しんぞう</sup>心臓が止まっている人に電気ショックを与え心臓を正しい動きにもどすこと。③点滴ができること。今、白河消防署には7人の救急救命士がいます。よその町村で心臓が

止まるなどの重い病気や事故が起きたら、その地区の救急車と白河消防署の救急車が出動します。これをランデブー又は、ドッキングといいます。最後にお家の人<sup>たわ</sup>が倒れたときは、救急車が来るまでに、人工呼吸や心臓マッサージをすることが大切です。一人でも多くの人の命<sup>いのち</sup>が助かるといいですね。